

138 まえやまじょうあと
前山城跡



指 定 市 史 跡 昭和56年 4 月23日
所在地 前 山
所有者 個人 11 人



前山城跡は、蓼科山の一支脈が東北へ延びた突端、佐久平の大半を一望におさめうる地の利を得た地点に位置している。主郭・二之郭・三之郭がほぼ一線につらなり、北方は断崖の下を中沢川が流れ、東ならびに南の二方は急斜面で、いくつかの曲輪くるわが設けてある。さらに尾根筋は所どころ堀切りによってさえぎり、防禦線ぼうえんせんを構成している。

鎌倉・室町の両時代を通じ、佐久郡西部に威をふるった伴野氏は、伴野荘の地頭として当初は野沢館に拠り、室町中期に至り戦乱の激化にともなって、詰めの城として前山城を構築し、後には本拠をここに移した。

天正10年（1582）前山城は依田信蕃のぶしげに攻められ、城将伴野信守は討ち死し、城は兵火に焼かれて落城した。信守の子貞長は、北条氏を頼って小田原へ走り、その後、天正18年（1590）相木の白岩しらいわにおいて戦死をとげた。ここに伴野氏の嫡流は滅亡したが、城跡はいまもほぼ旧態をとどめており、焼き米その他の遺物が所どころから出土する。